

自己評価報告書

平成 23 年 5 月 18 日現在

機関番号：43911

研究種目：基礎研究 (C)

研究期間：2008～2011

課題番号：20530614

研究課題名 (和文) 母親の社会的情動発達プログラムの開発
—情動認知と応答行動の発達過程—研究課題名 (英文) Development of the social emotion development program of mother
—Development process of the emotion recognition and the behavioral response—

研究代表者

小原 倫子 (OBARA TOMOKO)

愛知江南短期大学・現代幼児学科・准教授

研究者番号：1045032

研究分野：社会科学

科研費の分科・細目：心理学・教育心理学

キーワード：親子関係、社会的情動発達、情動認知、応答行動、日常的文脈

1. 研究計画の概要

(1) 母親の社会的情動発達のプロセスの特徴をできるだけ詳細に検証し、発達モデルを構築するために、縦断的なマイクロ分析を実施する。

(2) 健常群とリスク群の母親の社会的情動発達の差異の出現時期を明らかにするために、それぞれの群の発達プロセスについてマクロ的視点での分析を行い、発達プロセスの比較検証を実施する。

2. 研究の進捗状況

研究計画の(1)については、

① 母親の情動認知を測定するためのツールとして、乳児の様々な日常生活場면을素材とした VTR 刺激を作成し、測定ツールとしての妥当性を検証した。また、その過程を論文として公刊した。

② VTR 刺激を用いて、生後 1 年間の 4 時点において母親の情動認知と認知のために利用する文脈について横断調査を実施した。また、その結果を基に、認知される情動と利用される文脈に関するカテゴリを作成した。この過程については国内外の学会で発表を行い加筆修正した内容での論文を準備中である。

③ VTR 刺激を用いて、生後 1 年間の 4 時点において母親の情動認知と認知のために利用する文脈について縦断調査を実施した。また、作成したカテゴリを用いて発達プロセスの個人内、個人間の変化について分析を行っている。この過程については、国内外の学会で発表を行い加筆修正した内容での論文を準備中である。

④ 生後 1 年間の 4 時点において母親の応答行動を観察するための縦断調査を実施した。また、情動認知と応答行動の関連についても分析を行っている。この過程については、国内外の学会で発表を行い加筆修正した内容での論文を準備中である。

研究計画の(2)については、

① VTR 刺激を用いて、母親の情動認知と認知のために利用する文脈について虐待リスクをもつ母親、発達リスクを持つ子どもの母親を対象に横断調査を実施した。また、作成したカテゴリを用いて、発達プロセスの個人内、個人間の変化について検証を行った。更に、健常群との比較検証も行っている。この過程については、国内外の学会で発表を行い、加筆修正した内容での論文を準備中である。

3. 現在までの達成度

② おおむね順調に進展している。

(理由)

妥当性の検証された測定ツールとカテゴリを作成したことにより、本研究の目的である、母親の社会的情動発達のプロセスの測定と分析が可能となった。また、データ収集と分析も地道に進めている。ただ、健常群以外の虐待リスクをもつ母親、発達リスクを持つ子どもの母親を対象にした調査が遅れており、対象者のリクルート方法も含めて、再度検討する必要がある。

4. 今後の研究の推進方策

(1) 現在までに収集した多くの基礎的データを分析し、それらの結果と結果から考察される母親の社会的情動発達プロセスの特

徴と発達モデルを、学会発表や論文を通して幅広く社会に説明していく。

(2) 基礎データに基づき構築された理論的背景を利用して、育児にストレスを抱える母親や母子間のコミュニケーションに悩む母親に対して、適応的な子どもへの関わり方を体験的にトレーニングできる、発達プログラム開発のための実証的な研究を推進していく。

5. 代表的な研究成果

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文] (計 2 件)

- ① 上嶋菜摘、小原倫子、母親が乳児に対する“かかわり”において着目できる手があり、乳幼児医学・心理学研究、第 19 巻、pp49-60、2010 年、査読有
- ② 島義弘、小原倫子、小林邦江、上嶋菜摘 乳児の情動状態の読み取りに関する研究—VTR 刺激の作成—、名古屋大学大学院教育発達科学研究科紀要 (心理発達科学)、第 56 巻、pp83-89、2010 年、査読有

[学会発表] (計 20 件)

- ① 杉村和美、小原倫子、松本学、遠藤利彦 発達における変化プロセスの検討、日本発達心理学会第 22 回大会自主ラウンドテーブル、2011
- ② 小原倫子、小林邦江、上嶋菜摘、島義弘、乳幼児を育てる養育者の情動認知と情動的関与 (7) —情動認知と養育者-乳幼児相互作用の発達の関連の検証—、日本発達心理学会第 22 回大会、2011
- ③ 小原倫子、小林邦江、上嶋菜摘、島義弘 Developmental Changes in Mother's Perception of Infant Emotion and Use of Context. XVIIth Biennial International Conference on Infant Studies, Maryland, Baltimore, 2010
Poster Presentation